



独立行政法人国立病院機構
 岩手病院 地域医療連携室
 TEL : 0191-25-2428
 FAX : 0191-25-2429
<http://www.hosp.go.jp/~iwate/>
 地域医療連携室長 千田 圭二

新年度のご挨拶

病院長 千田 圭二



「休むことが、仕事のうち……」

「ええ。次の仕事をよりよいものにするため、きちんと休む。それってすごく大切なことなのよ」

——坂木司：アンと青春。光文社電子書籍、2018、47%

今年度も岩手病院をよろしく願います。この巻頭言のテーマは新年度の冒頭のご挨拶であって、最近私が執筆してきました。しかし、例年のようにすんなりとは筆を起し難いのは、5月1日に予定されている改元（改元自体と長期連休）が、何か不安定な雰囲気を醸成しているからでしょうか？

当院には今年度も幾つか明瞭な課題があります。一番大きいのは働き方改革の実施かもしれません。改革の支柱は超過勤務の縮減と年次有給休暇の確実な取得の2本です。仕事は効率よくシッカリやったうえで、次の仕事をよりよいものにするために、きちんと休むということです。関係各機関でそれぞれ取り組んでいることと思います。限られた医療資源を有効に利用し

あって成り立っている地域医療連携ですから、そのどこかに皺寄せが生じることはないよう、働き方改革においても地域連携の視点が今後重要となるに違いありません。

2つ目の課題は、回復期リハビリを目的とする予約者の待機期間を短縮することです。当院では混合病棟でリハビリを受け入れているため、自宅復帰や後方の医療福祉施設への転出までに時間がかかったり、緊急入院のために空床が埋まることによって、しばしば待機期間が延長してきました。混合病棟の宿命でもあります。何とか工夫して待機患者さんをより早期にお引き受けしたいと思います。

大型医療機器共同利用についてですが、以前から予告しておりました画像診断レポートのオプションを加味したメニューが完成します。6月には、そのパンフレットを携えてクリニックの先生方に相談にお伺いする予定です。

最後に「岩手病院公開セミナー」のお知らせです。本紙前号以降には昨年12月11日に第13回「パーキンソン病の精神症状と対応」、今年2月12日に第14回「退院前訪問指導：家屋調査」をそれぞれ開催しました。今後の予定は、第15回（4月9日）が「神経筋難病患者の施設入所」、第16回（6月11日）が「神経筋難病と便秘」です。皆様のご参加をお待ちしています。

岩手病院 常勤医リスト

診療科

呼吸器内科

副院長 櫻井 誠（産業医）

脳神経内科

医師 小野洋也（日本内科学会認定内科医）

医長 今野昌俊（日本神経学会専門医、日本内科学会総合内科専門医）

医長 豎山真規（日本神経学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医）

医長 千田光一（日本神経学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医、産業医）

院長 千田圭二（日本神経学会専門医・指導医、日本頭痛学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医）

外科

医長 平野貞夫（日本外科学会専門医、日本大腸肛門病学会専門医、産業医）

リハビリテーション科

医長 宮 秀哉（日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医）

歯科

医長 佐藤 敦（日本口腔外科学会専門医・指導医）

その他の部門

医療安全管理

室長 櫻井 誠（併任）

地域医療連携

室長 千田圭二（兼任）

栄養サポート／褥瘡対策

室長 平野貞夫（兼任）

臨床研究部

部長 豎山真規（兼任）

重症心身障害医療センター

センター長 千田圭二（兼任）

神経筋難病医療センター

センター長 千田光一（兼任）

副センター長 今野昌俊（兼任）

リハビリテーションセンター

センター長 佐藤智彦（名誉院長）

第15回 NHO岩手病院 公開セミナー開催

平成31年4月9日(火)に「神経筋難病患者の施設入所」と題して講演しました。患者さん・ご家族にとって、在宅で長く生活を継続することを希望される方が多いため、「在宅療養支援に関する講演」は様々なところで行ってきました。しかし、介護状況・生活環境・家族状況など多くの要因で施設入所を希望される方もいらっしゃいます。ケアマネージャーさんや地域の病院からも長期療養や施設入所に関する相談を受ける事も多くなってきました。神経筋難病患者さんの特徴として、①治療方法がなく進行性疾患であること ②治療薬が高額となるケースがあること ③治療の選択があり、一関市を中心とした地域の施設状況を踏まえて当院の事例についてお伝えしました。

地域によっては「神経・筋疾患」というだけで受入が困難なケースも少なくない中で、一関市では在宅支援スタッフだけではなく、施設入所についても数多く

対応して頂いていることを自分自身も改めて認識する事ができました。現状から更なるステップアップと、他の地域でも対応できるような地域活動に取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

MSW 専門職 竹越 友則



地域医療連携室より

平成31年4月から人事異動に伴い、(写真左より)MSW 鈴木直美、療育指導室長 箱石悟、事務部長 佐藤俊典、医療相談係長 山田敦が新たに地域医療連携室のメンバーとなりました。今後ともよろしくお願いたします。

地域医療連携室では、神経・筋疾患病棟、リハビリテーション病棟の入院予約受付を行っております。転院申込については、当院ホームページの地域医療連携室から「転院申込用紙」をダウンロードしていただき、「診療情報提供書」と共にお送りください。

入退院調整会議は、毎週木曜日 8時30分より行っています。転院までお待たせしている状況がありご迷惑をおかけしておりますが、円滑にお受け入れできるように調整しておりますので、よろしくお願いたします。

ます。転院のご相談やご不明な点等については、退院調整看護師(千葉)・医療ソーシャルワーカー(竹越・鈴木)までご連絡ください。

